

### アジア太平洋地域のインターネット諸組織の連携を強め、合同の事務局が必要であればその方向を追求する

APスターと呼ぶこの組織は、1998年にアジア太平洋地域のインターネット諸組織の活動が、より効果的に進むようにするためのメーリングリストを作ることから始まった。メンバーは次の組織の主要な活動家（議長、事務局長、理事などの経験者）からなり、年々増加している。

APNG：学術研究用ネットのグループが基盤になった、地域の最初の組織  
 APNIC：IPアドレス管理組織  
 APTLD：トップレベルドメイン名組織  
 APIA：産業とビジネス関係の協会  
 APAN：高度な次世代研究ネット組織  
 APPLe：政策と法制に関するメーリングリスト

APRICOT：運用技術に関する会議  
 APDIP/PAN/IDRC：途上国支援のプログラム  
 INFITT：タミール人国際ITフォーラム  
 APBioNet：生物情報学ネット  
 ccTLD：国名ドメイン名  
 AI3：衛星利用で国際間研究ネット推進

これらの組織の連携を強め、合同の事務局が必要であればその方向を追求する。これらの組織のうち、法人格をもつものは、APNG、APNIC、APIAなどに限られており、経営上の余裕はない。

APスターの会議は、2000年3月にAPRICOTソウル、7月に横浜、10月にバンコク、2001年3月のAPRICOTクア

ランブルールと開催されて、この地域のインターネットの発展をさらに進めるために必要な項目を討議してきた。その中でAP-ISOCを作ってはどうか、また、地域ドメイン名の.asiaの制定をICANNに提案するのはどうかなどの話題が出ている。シンガポールに合同事務局を置くという意見がやや強く見られる。次回は2001年8月にベナンのAPAN会議に続いて10月にバンコクで開かれる模様である。参加している日本人は、APANから後藤滋樹、小西和憲、JPNIC/ASOから荒野高志、APIA/DNSOから堀田博文、ICANN/JPNIC/WIDEの村井純、AI3の山口英などの諸氏。筆者もAPNICの元議長、APIAの財政担当理事として参加している。

(高橋徹 株式会社インターネット戦略研究所)

www.apstar.org

### ICANNの下でIPアドレスやAS番号などのインターネットの番号資源の割り当てを行うRIRの1つ。アジア太平洋地域を担当する

APNICは、IPアドレス、AS番号などのインターネットの論理資源の割り振りを担当する3つの地域インターネットレジストリー（RIR: Regional Internet Registry）の1つであり、名称が表すとおりアジア太平洋地域を担当している。

2000年は、ミーティング開催が大いに充実した年となった。1999年以前は

APRICOTミーティングにてAPNIC総会が開催されるだけであったが、2000年2月のAPRICOT2000ミーティングでは総会以外に初めてオープンポリシーミーティングを開催、続いて10月にはオーストラリア・ブリスベンにおいて初めてAPNICミーティングを単独実施し、総会とオープンポリシーミーティングを開催した。

現在Director GeneralのPaul Wilsonの下総勢25名のスタッフを抱え、ミーティング開催だけでなく、データベース、ウェブなどの会員サービスも充実し続けている。APNICがほかのRIRと大きく異なるのは、その下にISPに相当するLIR

(Local IR) を直接置くほかに、国別レジストリー (NIR: National IR) を置いている点である。これは、APNICが管轄するアジア太平洋地域は言語や文化が多様で、APNICとLIRの間でこれらを埋める機能が必要だと考えているからである。しかしその一方で、割り振りや割り当て審議の多段化によって手続きのオーバーヘッドが大きくなる傾向も否めない。また、RIRに属する会員としての取り扱い、たとえば手数料や議決票数などに関して、LIRとの間で公平性を保つのは非常に難しい。本件は、NIRを中心にオープンに話し合い、見直していく方向にある。この問題は主にNIRから割り当てサービスを受けている日本にとっては重要である。(前村昌紀 グローバルワン/APNIC Executive Councilメンバー)

www.apricot.net

www.apnic.net

#### 問い合わせ先

#### APNIC

info@apnic.net  
 +61-7-3367-0490  
 +61-7-3367-0482



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)